




●目次

- 特集 高浜町老人クラブ連合会
生きいきパワーシリーズ ●P2・P3
- 「閃(ひらめ)き」まちづくりノート
— 今、なぜ「協働」なのか? — ●P4
- 高浜白宣言 ●P5
- 地域に医いこと ●P6・P7
- 防犯対策を学ぶ ●P8
- スポーツ特集 ●P9
- 朴榮先の高浜見聞録 ●P10
- 地域包括支援センター ●P11
- 子ども医療費助成 ●P12 
- 広報のまど ●P13
- エネルギーと原子力 ●P14
- お知らせ ●P15・16・17
- イベントカレンダー ●P18

生きいきパワーシリーズ



今回から生きいきパワーシリーズと題して高浜町で、
元気に活動されている方々を紹介したいと思います。

初回は高浜町の60歳以上人口（3,741名）のうち、加
入率76.6%を誇る高浜町老人クラブ連合会です。

平成21年度の会員数は、男性1,243名、女性1、
621名で計2,864名のみなさんが、普段は単位クラブ
（高浜地区単位クラブ数19・和地区単位クラブ数8・青郷
地区単位数9・内浦地区単位クラブ数4）を核とし活動され
ています。



わあ!きれいに
できています。



おひねりいっぱい
頂戴しました。



ステキな作品が
並んでいます。

高浜町老人クラブ連合会は、次の5つのことを柱に活動されています。

I 生きがい創造事業

- ・シルバークンベンションの開催
- ・会員相互の親睦活動
- ・サークル活動の展開

II 社会参加活動

- ・友愛募金の実施
- ・地域ボランティア活動の実施
- ・交通安全運動の実施

III 教養講座開催事業

- ・シルバースクールの開催
- ・リーダー研修会の開催

IV 健康増進事業

- ・各種軽スポーツサークル活動の展開
- ・運動会の開催
- ・体力測定の実施

V 女性活動推進事業

- ・家庭相談員の活動
- ・女性セミナーの開催

主な年間行事として、親睦旅行、ソフトバレーボール大会、シルバースクール、ゲートボール大会、シルバークンベンションがあります。

これらの活動の発表の場として毎年3月にシルバークンベンションを開催されています。この3月6日に開催された平成21年度のシルバークンベンションでは、創造と連携のきずなを拓けるといふキャッチフレーズで、活動の成果を町民のみなさんに披露され、参加されている方々は、みなさん本当にいきいきと発表されていました。

「シルバークンベンションに参加されているみなさんのように、元気な高齢者であり続けるためには、自分の殻にとじこもらずに、人の中のでて心をときめかすことが大切ですので、どんな老人クラブに参加して下さい。」と石橋クラブ連合会長はおっしゃっていました。

春の訪れと共に、何かを始めたいと

次のようなサークル活動も盛んに行われています。

- ゲートボール
- ソフトバレーボール
- グラウンドゴルフ
- 歩こう会
- 卓球
- 詩吟
- 民謡
- 大正琴
- 囲碁・将棋
- 俳句
- 茶道
- カラオケ
- 手芸
- 木目込み人形
- ダンス
- 押し花
- パッチワーク



問い合わせは、老人憩いの家瑞祥苑内の老人クラブ事務局
☎(72) 3397までお願いします。

思われているシニア世代の方、一歩踏み出されてみてはいかがでしょうか。か…。



テーマ：今、なぜ「協働」なのか？

野瀬豊町長の

ひらめ

「閃き」

まちづくりノート

野瀬町長「365日奮戦記」



近頃は、全国どここの自治体を見渡しても、「協働」という言葉を掲げて、「まちづくりを進めよう」としています。勿論わが町の総合計画でも、町民と行政のパートナーシップを推進力に、町の将来ビジョンの実現を目指そうとしています。

■「自助」「共助」「公助」って？

「協働」を語る上で必ず出てくるのが、「自助」「共助」「公助」という言葉です。

「自助」

「自助の身は、自助が守る。」が基本です。

普段から災害の知識を身につけ、いざ災害が発生しても、避難方法を正しく理解しておくことが、自分や家族の身を助けることにつながります。

「共助」

災害時には、行政の力は、全てにおよびません。

行政の助けが見込めない時のために、自主防災組織を結成したりして、いざという時に備えます。

「公助」

個人や、地域の力にも限界があります。

警察や消防などは、被害の拡大防止に当たりますし、役場は、水道などのライフラインの復旧に全力を尽くします。

阪神大震災では、生き埋め閉じ込めの救助のうち、自力で脱出したり、家族や隣人に救助してもらった人々が90%を超え、救助隊に助けられた人々は、わずか2%に過ぎませんでした。いざという時、公助を当てにできるのは、この程度だという現実の数値です。

■行政サービスと税負担のバランス

ここで興味深いデータがあります。昨年、総合計画策定の基礎資料として住民意向調査を行いました。その中、

「役場が行う行政サービスに対する負担(税金)のあり方は？」

という質問に対し、

「役場は限られた公共サービスに限定し、負担(税金)を抑制して欲しい。」という回答が、実に72%にも上ったのだ。

です。

■「あらたな公共」への挑戦

そこで最近、「あらたな公共」という言葉が生まれました。

もし、住民、NPO、企業などが「自分達で出来ることは自分達で…」という発想になれば、当然、行政サービスにかかる「コストは少なくなりますし、それは、ある意味「公共」というものの「自然なすがた」であり、昔の高浜町の「すがた」だったのでないでしょうか？

しかし、いきなり昔に戻ろうとしても無理がありますので、私は、平成22年度予算に、新しい補助金制度を盛り込みました。

その中身は、「地域のために何か行動を起こそう!!」と立ち上がった人達に対して、その活動を支援するため、経費の一部を補助しようというものです。

例えば、

◎まちを花いっぱいにする。

◎お年寄りの暮らしをサポートをします。

などが思い浮かびますが、みなさんには、まだまだ他の発想もあるはずですよ。

どっぴり声が上がるといい、今から楽しみにしています。

よい輪を広げたい！
よい気を起こそう！

高浜白宣言

昨年7月に掲げた「高浜白宣言」

これまでの活動を報告すると共に、今後の取り組みを語り合うシンポジウムを3月4日(木)に城山荘で開催しました。



約140人の町民の皆さんが町長らの話に耳を傾けた。

活動報告

(道田・並河アドバイザーより)
次の3つの事業を様々な視点やネットワークで平成21年度に引き続き行っていきますが報告されました。

●「伝える」プロモーション事業

◎町の人に「白宣言」を伝え、町の外の人に高浜の魅力を発信する

・浜ひろいの実施、WEBによる発信
etc

●「つくる」高浜ブランド育成事業

◎高浜ひろいを創造する
・竹林整備、たかはま鮎などの食開発
etc

●「調べる」基礎調査事業

◎町の人とともに新鮮な目で町を見つめ直し、考え行動する
・インタビュー、ワークショップ
etc



竹竹クラブと協働し、「高浜竹ブランド」を目指し竹林整備を行なっています。

■野瀬町長の白宣言が目指すもの

町民のよい気を起こしたい、でも気持ちだけでは町が変わらないのも事実で、その気になる計画・舞台が必要です。そのような計画・舞台のひとつが「高浜コンパクトシティ構想」(詳しくは広報「2009」をご覧ください)です。そういった構想を実現するために「一番大切なものは、町民の気持ち」と考えられています。

「白宣言」は、そのきっかけの1つです。

野瀬町長(右)
日村副町長(左)



アドバイザーの二人
道田氏(左)
並河氏(右)

■パネルディスカッション

野瀬町長、道田アドバイザー、並河アドバイザーにより「白宣言」に込めた想いが語られました。

野瀬町長からは、「砂浜」や「青葉山」があるこの景観は他にはない舞台、これを活かした活気をつくり出すことが私の役目である。そのために行政として「町民が主役」となっていたただける場面設定をしていきたい。

並河アドバイザーからは、「白宣言」の2年目は正念場である。白は、「高浜の素の良さ」や「気持ちの白」を表していることをもつとも伝えたい。

道田アドバイザーからは、「町の皆さんと協働で少しでも良いもの、高浜町の

の名物」を作っていく、という想いがある。是非町民の皆さんからご相談等のお声をかけていただきたい。といったメッセージが伝えられました。

「一緒に浜ひろい」しませんか！

★毎月第1第3日曜日

☆ルール1 午前6時30分～7時

(30分間)

☆ルール2 「ゴミ袋は各自持参

(緑の袋メインでOK)

☆ルール3 「ゴミは自分で持ち帰る

★場所は月ごとに各浜を順に行きます。

4月は、高浜白宣言のシンボル看板の下『中津海岸』、5月は『和田海岸』で実施します。

※時間等、変更の場合は告知放送などでお知らせします。



浜ひろいで拾うものは、「ゴミ」と「町への愛情」です。

★第3日曜日は「家庭の日」

「浜ひろい」をきっかけに、楽しい家族明るい地域が増え、子どもたちの健やかな成長に良い環境づくりを目指していきます。

地域に医いこと

みんなが守る、 みんなで育てる高浜の医療

高浜町寄附講座日より

第13回「寄附講座の1年とこれから」



■あつこいつの間の1年

早いもので、高浜町が福井大学医学部に寄附講座を設置してから1年になります。この連載も2年目に突入しました。

町の医療のため、当講座では診療以外に、調査・研究、医学教育、住民啓発に力を入れてまいりました。この連載も、地域の医療を良くするためには地域住民の理解と協力が不可欠であるため始めたものです。では、この1年で何が変わったのでしょうか？

今回は、節目を迎えた寄附講座の1年間の活動を、特に医学教育と住民啓発に関して振り返ってみたいと思います。

■医学教育の成果

お伝えしておりましたように、平成21年度もそれまで同様、医学生や研修医などの高浜町における地域医療実習を積極的に受け入れました。その結果、医学生48名、研修医(前期+後期)16名という多くの方が研修され(図1)、高浜の地域医療を心に刻まれました。

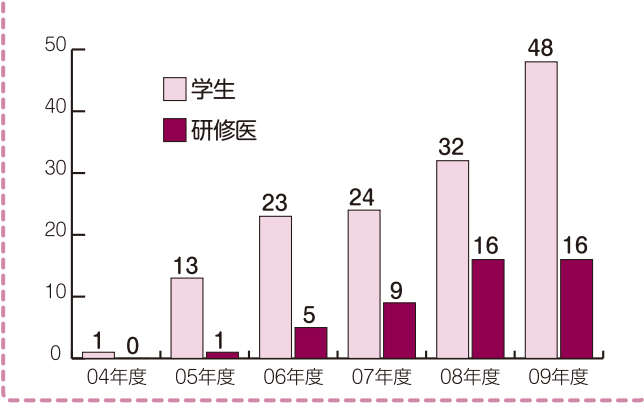
研修者の中には寄附講座の話を聞かれて研修を希望される熱心な方もおられました。また、和田診療所を中心とした町内の医療機関での研修+海浜救護

所ボランティア研修を併せた「地域医療体験ツアー」や、普段の診療所での地域医療研修において、寺澤先生はじめ寄附講座の教員から直接指導されたことを皆さん非常に喜んでおられました。このように、寄附講座の設置は高浜を訪れる研修者の増加に寄与していると考えています。

実習前と実習後を比較して、地域医療などの総合医療を志望する学生が増加することが分かっていきます(図2)。この積み重ねにより、高浜の医療を担うものが輩出されると信じています。

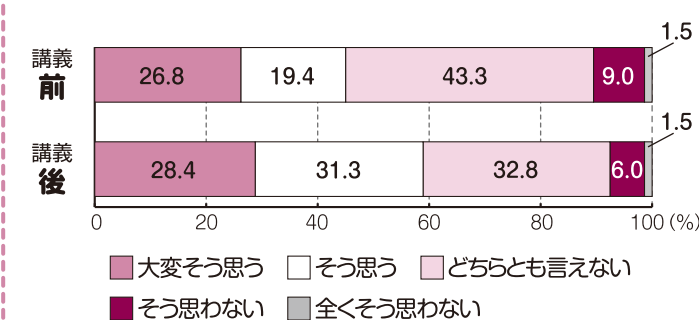
また、医学部1年生の地域医療学の講義を担当しました。早期から地域医

■図1：和田診療所研修受け入れ実績



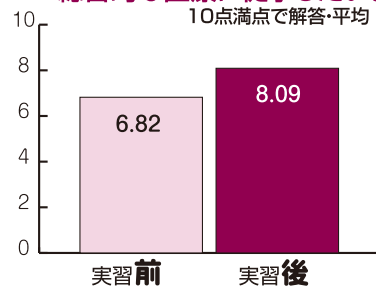
■図3：地域医療学概論アンケートより

将来は専門医より総合医を目指している。



■図2：実習前後でのモチベーションの変化

将来は専門的な医療より総合的な医療に従事したい。



療に触れていただくことで、将来その道に進む者が増える可能性が示唆されました(図3)。

そして、この5月から和田診療所にもう1人医師が赴任する予定です。詳細は別の機会に紹介いたしますが、医学教育の成果として実際に医師が増えていることを嬉しく思います。

■住民啓発の効果

くわい行政や医療者が奮闘していても、町内／町外の医療連携や医学教育に住民の理解・協力がないと、地域医療は良くなりませんし、持続しません。少しでも多くの町民の方に伝えるべく、本連載の他、2回の地域医療フォーラムを町とともに開催しました。のべ1000人近くの町民に参加いただき、アンケートでは随分と地域医療に対する理解が進み、協力したいと思ってくださったようでした(図4)。地域医療フォーラムは今年度も継続する予定です。

さらに、フォーラムで募集して発足した「たかほま地域医療サポーター」は、定期的な会合だけでなく、町内の医療関係者との意見交換会など、具体的な活動を17名のメンバーで開始しています。住民ならではの本質的かつ建設的な意見が多く出てくるので、筆者も非常に勉強になっていきます。

■今年度の目標

昨年度は研修者の増加、フォーラムの開催、サポーターの誕生など、非常に充実した1年でした。今年度は、医学教育に関しては福井県外の研修者を更に増加させることや、より充実した研修プログラムを制定することが目標です。住民啓発に関しては、サポーターが実際に住民にアプローチすることや、町外に向けてアピールすることをサポートしていきます、その成果を具体的に調査したいと思います。

■今月の「あなたができる、地域に医いごと」

- ◆当講座がなぜ医学教育と住民啓発に奮闘しているか理解する。
- ◆地域医療の主役である町民として、建設的に意見する。

「地域医療を良くする」ために活動してきた、と書きましたが、1年間走ってみて、「地域医療が良くなる」とはどういうことか、考えさせられることが多くなりました。ただ単に、町民の寿命が延びたとか、医療費が削減できたとかでは測りえないことだと思えます。では、最終的な結果として何が良くなればいいのか？医療に対する満

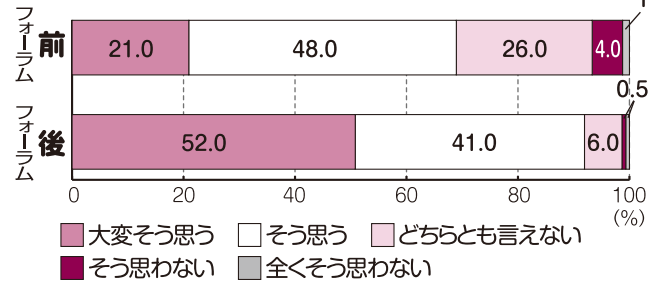
足度・信頼度・安心度の向上？医療の質？生活の質？この疑問は地域医療問題を考える上で非常に中核的なもので、広く皆さんのご意見をお聞かせいただきたい問題です。ぜひ、下記の通り貴重なご意見をお寄せください。

町の皆さん全員と地域医療について考え行動していく日々を目指し、今後とも頑張つてまいります。皆さんのご理解・協力を宜しくお願い申し上げます。

(文責：福井大学医学部地域プライマリケア講座/和田診療所 井階友貴)

■図4：アンケートより

地域住民の意識・行動の変化で地域医療は改善する。



町の皆様のご意見をお聞かせください!

テーマ

「町の医療が良くなる」って、何?

町の医療を良くしようと活動していて、根本的な疑問にぶつかりました。何をもち「医療が良くなった」と評価すればよいと思いますか？医療に対する満足度／信頼度／安心度、医療の質、幸福度、生活の質、住み易さ、受診率の向上、寿命の延長、医療経済の活性化など、色々な概念はありますが、どれもじっくり来ない気がします。今後活動する上で大変参考になりますので、ぜひ町民の皆さんの貴重なご意見をお寄せください。宜しくお願い申し上げます。

●ご意見は 和田診療所まで 下記の方法でお願いいたします。

◇郵送・ご持参(和田117-68) ◇FAX 72-6138 ◇Eメール wcc@town.takahama.fukui.jp

護身術で身を守ろう！

～防犯対策を学ぶ～

2月11日（祝）、青郷公民館において地域防犯教室が開催されました。この教室は地域ぐるみで防犯意識を高め、護身術や防犯に対する知識を深めていこうと高浜町安全安心協議会（敷本満昭会長）と小浜署高浜交番（重久佳雄所長）が主催しました。

教室には地元の子どもから大人までおよそ30名が参加。青駐在所、藤谷栄二巡査部長から「地域の安全防犯対策」
として車上狙いの手口が説明され「車の中には貴重品を置かない」「必ずドアにはロックを掛ける」などが呼びかけ



警察官の衣装で一同敬礼

られました。

護身術の講習会では重久所長が講師を勤め、不審者に腕をつかまれたときや後ろから抱きつかれた場合の対策を指導。参加者らは実戦を交えて取り組み、理解を深めました。

また「警察署員による手打ちうどんコーナー」や、子ども達が警察官や女性警察官の衣装を着てパトカーに乗車したり、記念撮影が出来るコーナーも設けられ、地域の中での連携を呼びかけていました。



護身術について学ぶ参加者ら

高浜町防犯隊練成会



重久高浜交番所長から護身術の指導を受ける防犯隊員ら

2月21日（日）文化会館において平成21年度高浜町防犯隊練成会が開催されました。

この大会は、高浜町防犯隊（山副修一隊長）の組織強化と、隊員相互の連携および防犯に対する資質向上を目的に二年に一度開催されています。

この日は町内5支隊の隊員66名が参加。開会行事では野瀬町長が「防犯隊は町の防犯対策を担うにあたり、町民

の一番先頭に立つ存在。今後もリーダーシップを発揮して町の安全安心のために活躍を期待します」とあいさつ。山副隊長の訓示の後、参列した一瀬県議会議員、重久高浜交番所長、濱田高浜町議会議長から祝辞が贈られました。開会行事の後、実技研修が行われ、重久所長から、防犯隊が実施する夜警等の町内巡回時に暴漢者から襲われたり、遭遇した場合に身を守るための護身術を学びました。

チャイルドシート購入費補助事業の終了について

平成12年から実施していました「チャイルドシート購入費補助事業」を平成22年3月31日をもって、終了させていただきます。ご了承ください。



SPORTS NEWS

スポーツニュース



第5回高浜町綱引大会結果

1月31日(日)中央体育館において「第5回高浜町綱引大会」が開催され一般の男女合わせて選手約270名が参加し力自慢を競いました。結果は次のとおりです。

●男子の部 【参加13チーム】

- ・優勝 出合
- ・準優勝 4DW(和田三)
- ・3位 JAたかはま
- ・4位 青戸

●女子の部

【参加9チーム】

- ・優勝 出合
- ・準優勝 東三松
- ・3位 青戸
- ・4位 和田四

●混合の部

【参加5チーム】

- ・優勝 出合
- ・準優勝 オリーブ&ポパイ(和田三)
- ・3位 音海



第22回各区対抗女子バレーボール大会結果

2月28日(日)

高浜小、中央体育館の2会場において「第22回各区対抗女子バレーボール大会」が開催され、18チーム約250名が参加、熱戦を繰り広げました。

結果は次のとおりです。

- ・優勝 蘭部
- ・準優勝 若宮
- ・3位 塩土横町



平成21年度福井県スポーツ少年団指導者表彰

これは、福井県スポーツ少年団表彰規定に基づき、永年にわたってスポーツ少年団の指導・育成に貢献された登録指導者に対して授与されるものです。

平成21年度は、高浜町スポーツ少年団より推薦のあった個人6名を2月7日の高浜町スポーツ少年団交流大会開催に合わせて表彰しました。

受賞された指導者の方は次のとおり

です。(敬称略)

●10年表彰

- ・杉本 龍海
 - ・萩野 博幸
 - ・上ノ山 弘之
 - ・荒殿 修
- (以上、青郷クラブスポーツ少年団)

●5年表彰

- ・釣本 幸夫
- ・青郷クラブスポーツ少年団
- ・榎本 保
- ・高浜町少年ラグビースクール
- ・スポーツ少年団

平成21年度高浜町体育協会表彰

平成21年度高浜町体育協会表彰式が2月21日(日)文化会館小ホールで行われました。

この賞は高浜町の体育・スポーツの普及発展に尽くし、かつ名誉を高めるために功績のあった方、ならびに、優秀な成績を収められた個人・団体に贈られるものです。

毎年、高浜町体育協会では慎重に協議し選考されています。

今年度は以下の20名、1団体の方々が受賞されました。(敬称略)

●優秀選手賞

- ◎硬式野球
- ・時本 亮
- ・大垣日大高1年
- ◎ラグビーフットボール
- ・濱手 大二朗
- ・若狭東高3年

- ・梅垣 貴
- ・同3年
- ・今井 深太
- ・同3年
- ・中村 成児
- ・同3年
- ・村松 晋太郎
- ・同2年

- ◎陸上
- ・山本 航大
- ・青郷小6年

- ◎レスリング
- ・蒲川 義人
- ・若狭高3年
- ・澤柳 峻
- ・同3年
- ・大枝 正佳
- ・同3年
- ・内谷 幸博
- ・国士舘大3回

- ◎ボート
- ・荒木 祐作
- ・若狭高3年

- ◎ソフトボール
- ・今井 裕香子
- ・京都西山高3年
- ・松本 亜由美
- ・岐阜女子高1年

- ◎水泳
- ・増田 紗耶香
- ・若狭高3年
- ・長谷川 楓悟
- ・青郷小5年
- ・田中 哲

●優秀団体賞

- ◎野球
- ・高浜クラブ(学童軟式野球)

●優秀指導者賞

- ◎陸上
- ・中川 淳之

●体育功労賞

- ・窪田 蒸吉
- ・高見 榮治



国際交流員 朴榮先の



韓国人から見た日韓の歴史講義スケッチ

ヨロブン、アンニョンハセヨー(皆さん、こんにちは)

以前にも紹介しましたが、私の主人は、保寧市の高校で歴史教師を27年間しており、韓国の学校が夏・冬休みの時は、高浜に来て一緒に過ごしています。

昨年、小浜市に住む知人から主人に対して、日韓の歴史講義をして欲しいとお願いされました。そんなことから、主人は、この2月に高浜町と若狭町で2回の歴史講義をすることになりました。

講義のテーマを「韓国から見た日本」と題して、高浜町では、2月27日に町文化会館で開催され、当日は60人程の方が参加されました。主人は、講義の始めに「今日、この高浜町でこのような講義が出来ることに感謝すると共に、これからの韓日関係の未来に 대해서도歴史に残る日です。」と述べました。

講演の内容は、韓日関係史から始まりました。

○過去に、韓国と日本は歴史的にも近い関係を保っていたにも関わらず、今は、多くの歴史認識に差がある。韓国と日本が、「近くて遠い国」と言われるのは、歴史的に加害者と被害者の立場の差から始まっている。

○韓国では、歴史感情によって日本に対する正しい認識が欠如していて、日本では、自国の歴史を隠したり正当化したりするところに問題がある。

○過ぎ去った韓日関係史を通じて、両国が共通した歴史認識を追求しなければいけない。すなわち、三國文化の日本への伝播、百済との親密だった関係、朝鮮通信使などの友好的な交流が行われた事実、反対に帝国主義侵略と植民地時代の統治方式。

など、韓日の歴史に対して言及しました。

結論的に、これから韓国と日本が未来に向かって真の友達になるには、

- 1、加害者と被害者の立場を考慮して、両国の歴史を理解し尊重する姿勢が必要。
- 2、歴史事実に対する共通認識が必要。
- 3、今日のような、民間レベルでの活発な文化交流。

特に、今年は韓日併合100周年にあたる節目の年であり、今後とも日と同じように民間レベルの歴史対話と交流が活発に展開されるようになれば、小さい船が大きい船を動かすように、韓日の更なる友情と協力に役に立つものと期待をしました。

私は、今回の歴史講義は、両国の差を理解して歴史的事実に対する認識を共感した場だったと考えました。講義に参加した方々は、「日本では受けてみることが出来ない歴史教育だった。」「被害者であった韓国の立場を十分に理解する。」「風変わりな講義として多くのことを悟った。」など、興味深い反応をも与えました。当日の夕方、主人は私に言いました。「講義を通じて、一層日本と近くということを感じた。高浜と日本をより一層愛する気持ちで幸福と希望を作り出す人になれ...。」

最後に、今回の講義が、3月に咲き始める新芽になるよう...そして、遠くない将来に美しい花で豊かな実が結ばれることを固く信じています。カムサナムニダ！(ありがとうございます)



〈歴史講演する具本泰(ク・ボンテ)氏〉

お知らせ

朴榮先さんの国際交流活動がFBC福井放送で紹介されます。
FBCテレビ「ふれあい若狭」
4月11日(日)
午後5時～5時30分

何 Do?

地域包括

支援センター

■前回のポイント

「高齢者虐待報告数から認知症を考えてみましょう」

認知症講座 その30

『春を探しに出かけましょう。』

いよいよ春らしい日和となってきました。寒さを理由に家に閉じこもり気味だった方も、*さあさあ冬眠(?)*から覚める時期です。春は自然界に最も活力がみなぎる季節です。せっかく自然豊かな町に住んでいるのですから、春の息吹を感じられるような場所に出かけてみてはいかがでしょうか。

「認知症予防」と聞きますと、計算ドリルや読書などの「勉強」と思われがちですが、実際にはそれが全てではありません。もちろん、それらの勉強は大切なのですが、脳に刺激を送るといふ点では、「野外学習」

に勝るものはないかも知れません。外に出て季節を楽しもうとするの

自然と五感を使うことになり、たくさん刺激が脳へ行くからです。

例えば、お花見は「見て」「聞いて」「嗅いで」「触って」「食べて」の全ての要素が含まれています。そして何よりそれらによって、「コミュニケーション」が生まれることが魅力です。帰ってから思い出話に花を咲かせることもできますし、孤立せず楽しみながら脳の活性化につながる最も有効な学習法とも言えます。

この春、一度は自然から元気をもらいに出かけましょう。さあどこに行きますか？何をしたいですか？あれこれ考えるだけでも脳は喜びますよ。

何 Do レポート

◎高浜町地域福祉計画策定委員会に出席しました！

2月9日に高浜町地域福祉計画の第1回目策定委員会が開かれました。委員会は委員16名(関係機関等14名、一般公募2名)とオブザーバー2名で構成されています。

「地域福祉計画」は、地域全体のこれからの福祉の方向性を決めるものです。高浜町では平成22年度中の策定完了を目指しています。地域包括支援センターも策定委員として入っていますので、みなさんの声をできるだけ届けて、より良い計画にしたいと思っています。



率直な想いを聞かせて頂きました。

■地域包括支援センターより

問い合わせ/☎(72)6120

もの忘れ相談

2カ月に1回開催・要予約 参加費無料

日時/4月22日(木) 14時~16時
場所/保健福祉センター
内容/専門医師による認知症の出張相談

介護家族の会

参加費無料

日時/4月28日(水)
13時半~15時半
場所/内浦公民館
内容/介護事業所の紹介と話し合い

「認知症講座」は、しばらくお休みします。次回から新シリーズを始める予定ですので、今後ともよろしくお願ひします。

知
ト
コ

子ども医療費 助成事業について

現在高浜町では、「乳幼児医療費助成事業」として町内に住所を有する、小学校就学前までの乳幼児の医療費（保険対象分）を助成していますが、平成22年4月1日より助成年齢が拡大され、町内に住所を有する、0歳から中学校卒業までの子どもの医療費を助成する『子ども医療費助成事業』を開始します。

対象年齢

★現在 平成22年3月31日まで

★新制度 平成22年4月1日より

乳幼児医療費助成事業

◎対象者◎

町内在住の0歳～小学校就学前
までの乳幼児

年齢拡大

子ども医療費助成事業

◎対象者◎

町内在住の0歳～中学校卒業
までの子ども

事業内容

町内に住所を有する全ての中学校卒業までの子どもに係る医療費の助成をします。

受給資格の登録

出生、転入等により新たに受給資格が生じた場合、お子様の健康保険証・払込希望口座（保護者名義のもので、ゆうちょ銀行以外）のコピーを添付し、「子ども医療費受給資格登録申請書」を提出してください。

助成額

保険対象となる医療費の一部負担金（高額療養費、付加給付がある場合、その額を控除した額）及び入院時食事療養費の全額を支給します。

※一部負担金とは、病院・歯科医・調剤薬局・整骨院などの医療機関において保険の給付が受けられるものを指します。

助成の申請

◎県内の医療機関で受診された場合、申請の必要はありません。（必ず受給者証を窓口に表示してください。）

◎県外の医療機関で受診された場合、医療機関の領収書を添付し、「子ども医療費交付申請書」を役場住民課まで提出してください。※申請は、診療月、医療機関等、受診者、入院、外来別にまとめて医療を受けた月から1年以内に提出願います。

※その他、ご不明な点等がありましたら下記まで、お問い合わせください。

問い合わせ 住民課 医療費助成係 ☎(72)7703



広報のまど

国民年金

学生の方には国民年金 保険料を後払いできる 制度があります

学生の方は、本人が申請することにより万が一のリスクに備えることができます。

日本国内に住むすべての方は、20歳になった時から国民年金の被保険者となり、保険料の納付が義務づけられますが、学生の方については、本人の申請により在学中の保険料納付が猶予される「学生納付特例制度」があります。

国民年金の保険料が未納になっていると、万一、病気やケガで重い障害が残ったときや死亡といった不慮の事態に、障害基礎年金や遺族基礎年金が受けられないことがあります。学生納付特例が承認された期間中であれば、障害の状態に応じて障害基礎年金が、死亡された方の遺族（「子のある妻」と「子」）の方は遺族基

老齢基礎年金	年金額に計算	さされます ○	されません ×	されません ×
	受給資格期間	入ります ○	入ります ○	入りません ×
障害基礎年金・遺族基礎年金 の受給資格期間		入ります ○	入ります ○	入りません ×
		納付	学生納付特例	未納

礎年金を受けることができます。

国民年金保険料を納付した場合と学生納付特例制度を利用した場合、また、保険料を納付しない場合の違いについては次の表のとおりです。

なお、障害基礎年金及び遺族基礎年金を受給するためには、障害や死亡といった事故が発生するまでの国民年金の加入期間の2/3以上の期間について、保険料を納付、免除又は猶予されていること、若しくは原因となった事故などの直前の1年間に保険料の未納のないことが必要です。

対象となる学生は、本人の所得が一定以下で、大学、短期大学、大学院、高等学校、専修学校などのほか、各種学校（一年以上の就学課程に限る）に在学する20歳以上の方（夜間・定時制・通信課程も含む）です。家族の方の所得は問いませんので、保険料の納付が困難な場合は、必ず学生納付特例を申請してください。

申請は、住民票を登録している市区役所・町村役場の国民年金担当窓口へ提出してください。申請の際には基礎年金番号が確認できる書類（年金手帳など）と学生証明書類（学生証の写し、

または在学証明書原本）が必要です。また、前年の所得を確認する必要があるため、申請は毎年必要です。

なお、学生納付特例の承認を受けた期間は、将来の老齢基礎年金の年金額の計算には含まれません。将来の年金額を減らさないために、承認を受けてから10年間のうちに保険料を納付（追納）することができるようになっています。

ただし、追納は、承認を受けた年度から起算して3年度以降に追納すると、当時の保険料の額に加算額が加わります。また、承認を受けた古い期間から順に納めることとなります。

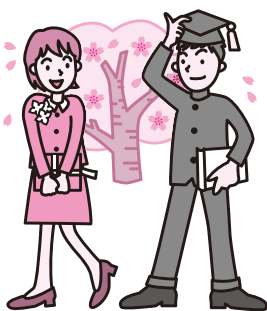
【問い合わせ】

日本年金機構 敦賀年金事務所

☎0770(23)9900

右記のこと、および国民年金につきましては、住民課までお問合せください。

住民課 ☎(72)7703



いま考えよう エネルギー と原子力

2010年日本APECエネルギー大臣会合
6/19(土)～20(日) 福井県で開催！

アジア・太平洋地域の21の国・地域のエネルギー担当大臣・政府関係者が参加し、今後のエネルギー政策について議論する福井県初の大規模国際会議が、6月に福井市で開催されます。

■APEC（アジア太平洋経済協力）エネルギー大臣会合とは？

アジア、北米、中南米、オセアニアなどアジア太平洋地域の21の国・地域が参加し、貿易や経済などについて、今後の方向性や目標を協議する世界最大の経済協力フォーラムです。

APECでは、今年11月に横浜で開催される首脳会議に先立ち、エネルギーや貿易、観光などの分野別に担当大臣会合が日本で開催されます。

このうち福井県では、エネルギー大臣会合が開催されることになりました。エネルギー大臣会合は、これからの地球温暖化や省エネルギー対策について議論する非常に重要な会合です。

■APECエネルギー大臣会合の参加メンバー（21の国・地域）は？

ブルネイ、インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、ベトナム、タイ、日本、韓国、中国、チャイニーズ・タイペイ、中国香港、メキシコ、パプアニューギニア、オーストラリア、ニュージーランド、アメリカ、カナダ、ペルー、チリ、ロシア。

■APECエネルギー大臣会合が、福井県で開催される理由は？

福井県では、嶺南地域に15基の原子力発電所が立地しており、長年にわたる国のエネルギー政策や地球温暖化防止に貢献しています。これらの技術・人材の集積を活かし、エネルギーの総合的な研究開発拠点地域をめざして、エネルギー技術の研究開発、原子力・エネルギーの人材育成などを進めています。このような取組みが評価され、エネルギー大臣会合が福井県で開催されることになりました。

エネルギー大臣会合が日本で開催されるのは、1998年の沖縄県以来の2回目となります。約600人の各国要人、プレス関係者が福井県を訪れる予定です。

■APECエネルギー大臣会合記念事業が、敦賀市で開催されます！

国のエネルギー政策や地球温暖化防止への貢献に寄与している嶺南各市町が協力し、エネルギーをつくる地域と、消費地である関西・中京を結び、日本の将来を担う子どもたちなど、幅広い層にわかりやすくAPECやエネルギーなどについて理解を深めていただくため、6月19日～20日、敦賀市の「きらめきみなと館」及び「敦賀市民文化センター」において、各種イベントが開催される予定です。

■高浜発電所の運転状況（H22.3.26現在）

◇1号機（定格電気出力82.6万kW）…………… 運転中

◇3号機（定格電気出力87.0万kW）…………… 運転中

◇2号機（定格電気出力82.6万kW）…………… 運転中

◇4号機（定格電気出力87.0万kW）… 第19回定期検査中
(H22.2.4～H22.6月上旬予定)

お知らせ

Takahama's News

文化会館

問い合わせ／☎(72)2751

文化会館の 利用予約について

下記のとおりインターネットから予約いただけます。

どうぞご利用ください。

①高浜町役場ホームページ「ふくーえ
ねっと」から入ってください。

<http://www.town.takahama.fukui.jp>

②施設の選択

③場所・時間帯の選択(複数選択可)

※時間帯は1時間単位で、準備・後片付けの時間を加味した時間を選択してください。

④ID・パスワードの入力

※初めての方は登録が必要ですので、文化会館までお問合せください。

⑤予約内容を入力

※催事名・目的区分・入場料欄・使用时间(準備・本番・後始末)は必ず入力してください。

⑥利用目的・利用人数を入力

⑦予約内容確認

⑧予約

※あくまでも仮予約ですので、文化会館で審査後、本予約となります。

まちづくり課

問い合わせ／☎(72)7705

宝くじ助成事業

●若宮区が、宝くじの収益を財源とした「コミュニティ助成事業」で、御神輿を修理しました。



●今寺区が、宝くじの収益を財源とした「コミュニティ助成事業」で、グリーンツーリズム備品を整備しました。



このように宝くじの売り上げは、地域のコミュニティ活動に役立てられています。



国・県・その他の機関より

平成22年度電気通信サービス モニター募集について (募集期間 平成22年4月2日まで)

総務省北陸総合通信局では、平成22年度電気通信サービスモニターを募集しています。

電気通信サービスモニターは、日頃、電話、インターネット、電子メールなどの電気通信サービスを利用されている一般の方から、ご意見やご要望をいただき、今後の情報通信行政

に反映させるものです。

詳しい応募要領は、北陸総合通信局のホームページをご覧ください。

日本宇宙少年団 「若狭流星分団」 団員募集

- 内容 宇宙への理解を高める活動
- 対象 小学4年～中学2年まで
- 募集期間 4月末日メ切
- 問い合わせ 若狭流星分団事務局 下嶋氏
☎090-3887-2005

JICAボランティア 平成22年度春募集

- 募集期間 平成22年4月1日(木)
～5月17日(月)

下記日程で「体験談&説明会」を実施します。

今、開発途上国ではさまざまな分野において、あなたの技術・知識・豊かな経験が求められています。

海の向こうで、もうひとつの意義ある人生を見つけてみませんか。

- 青年海外協力隊
(20歳～39歳対象)
 - ・4月 8日(木) 18:30 国際交流会館
 - ・4月17日(土) 14:00 県立図書館
 - ・4月25日(日) 14:00 国際交流会館
- シニア海外ボランティア
(40歳～69歳対象)
 - ・4月17日(土) 10:30 県立図書館
- 問い合わせ&相談窓口
JICA北陸 ☎076(233)5931
JICAホームページ
<http://www.jica.go.jp>

乳児の1カ月健診費用 助成開始のお知らせ

4月1日から出産後に医療機関で受けられる乳児の1カ月健診費用が公費負担となります。

対象／乳児の1カ月健診

期間／平成22年4月1日以降の受診分

●方法

- ①福井県内・舞鶴市内の医療機関
母子手帳発行時にお渡しする受診票を利用)
- ②上記以外の医療機関(国内)

受診後、必要書類を添えて保健課に申請

上下水道課

問い合わせ／上水道センター

☎(72)3611

上水道や下水道の工事を されるときは

住宅の新築や改造などで、上・下水道管を新設したり改造したりする場合などは、町指定の工事店に依頼し

てください。

(例)

*上・下水道管の設置や撤去

*給湯器の設置や撤去

*電気温水器の設置や撤去

上・下水道工事は、町指定の工事店以外は行うことはできませんので、ご注意ください。

※町指定工事店は下記の上下水道課ホームページでご覧になれます。

<http://www.wakasa-takahama.tv/jougesuidou/>

法律ミニコラム

Q 隣の住人が、近所の人に対し、私が万引きをしているとのうわさを言いふらしています。名誉毀損にはなりませんか。

A 1 公然と事実を摘示し、人の名誉を毀損した場合には、名誉毀損となり、民事上、被害者は加害者に対し、精神的苦痛に対する慰謝料等を請求できます。

2 「公然と」とは、マスコミによる報道のように、不特定または多数人に事実を認識させることを言います。

ただし、本件のような近所でのうわさ話であったとしても、話を聞いた人がさらに別の人に話をするなどして不特定多数の者に広がっていく可能性があれば、「公然と」に当たりますので、その場合には名誉毀損となる可能性が高いでしょう。

近所でのトラブルですので、話し合いで解決できれば一番だとは思いますが、どうしても無理な場合は裁判で請求することも検討してください。

3 なお、名誉毀損は犯罪です。しかし、実際には、警察・検察が被害が軽微である等の判断をして、裁判まで至らないこともあります。

小浜ひまわり基金法律事務所(所長・宮崎亮)
相談するにはまずはお電話でご予約ください。☎(53)2018

2月1日～28日分届出分(敬称略・届出順)

★お誕生おめでとうございます

赤ちゃん	(性別)	両親	(住所)
・山崎 吾朗(ごろう)	(男)	和成・見佳	(今在家区)
・瀬戸 陸也(りくや)	(男)	好生・肖珠	(横町区)
・石田瑠希斗(るきと)	(男)	裕希・美穂	(水明区)
・大塚 光晴(みつはる)	(男)	洋輝・加奈子	(和田二区)
・仲野 葉夕(はゆ)	(女)	博之・麻紀子	(和田二区)
・藤本 由華(ゆうか)	(女)	晃司・由美	(菌部区)
・音海 朱里(しゅり)	(女)	晃久・里花	(和田三区)
・中村 佑香(ゆうか)	(女)	豊・智子	(中寄区)

🌸お悔やみ申し上げます

中山 イワ(101歳)(今在家区)	福田 昭次(79歳)(子生区)
山本 治(80歳)(出合区)	一瀬 フジ(92歳)(車持区)
繪馬 めひ(103歳)(和田二区)	上野 石蔵(95歳)(塩土区)
岸本ヨキ子(87歳)(西三松区)	嶋本 清治(90歳)(塩土区)
持田 千代(86歳)(赤尾町区)	高田 ひさ(95歳)(南区)
杉本 雅志(79歳)(神野区)	田中ゆりお(100歳)(神野浦区)

👤人のうごき (2月28日現在)

		前年同月比
【人 □】	11,458人	(△127人)
【男】	5,636人	(△79人)
【女】	5,822人	(△48人)
【世帯数】	4,165世帯	(+2世帯)

お知らせ

Takahama's News

福祉課

問い合わせ／☎(72)5887

子ども手当の創設について (平成22年2月28日現在)

平成22年4月分から、「児童手当」に代わり「子ども手当」が支給される予定です。

子ども手当法案の概要をご紹介しますが、今後、若干変更になる可能性もあります。

詳細が決定次第、改めてご案内する予定にしていますので、ご了承ください。

【子ども手当法案の概要】

- 施行日 平成22年4月1日
 - 支給額 中学卒業までの子ども
一人当たり 月額13,000円
(所得制限なし)
 - 支給月
平成22年6月(4,5月分)
平成22年10月(6~9月分)
平成23年2月(10~1月分)
平成23年6月(2,3月分)
 - 受給手続 所定の書類に必要事項を記入し、住所地の市町村に申請する。
(*9月末までに申請すれば、4月分から受給が可能。)
 - 費用負担 国が負担する。
- ※現行の児童手当を受給している世帯については、児童手当からの変更となることから、原則手続きなしで受け取ることができるように取り組んでいます。

※今回の法案は平成22年度限りの時限措置で、平成23年度以降の制度については、また改めて検討されることになっています。

高浜町出生祝金制度の 廃止について

このたび、「子ども手当」が創設、平成22年4月1日から施行される予定となったことに伴い、平成22年3月31日をもって「高浜町出生祝金制度(第3子以降誕生祝金の交付)」が廃止されることになりましたので、お知らせします。

(*3月末日までに出生された場合は、従来どおり対象となります。)

保健課

申込、問い合わせ／☎(72)2493

さあきっと **申込不要** スリムトレーニング

- 日時 4月13日(火) 午後2時~3時
4月27日(火) 午後2時~3時
 - 場所 いずれも保健福祉センター
- ※動きやすい服装でお越しください。汗をかきますのでタオル、飲み物を必ず持参してください。
初心者大歓迎!

スマイルベビー **要申込**

日時／4月5日(月)
午前10時~11時30分
場所／保健福祉センター
対象／妊婦さん・満1歳までのあかちゃん
と家族
特集講座／どうする?おっぱい~卒乳・断乳ワンポイントアドバイス~

家族みんなの 健康カレンダーについて

4月中旬~下旬にかけて、各地区の健康づくり推進員より「家族みんなの健康カレンダー」をご家庭にお届けします。

カレンダーには、健診・運動講座・こころの相談・予防接種・子育て支援センターやふれあいサロンをはじめとした地域包括支援センター事業などの日程が記載されています。また、その月々に応じた「今月のお知らせ」と「たかはま健康づくり10か条」に基づいた健康づくり情報も記載しています。ぜひご家族みなさんの健康づくりにカレンダーをご活用下さい。

健診受診希望調査票の 配布について

「家族みんなの健康カレンダー」と一緒に、「男性40歳以上、女性20歳以上」の方がおられる世帯に「健診受診希望調査票」が各地区の健康づくり推進員より配布されます。対象年齢となっておられる「各種がん検診」や高浜町国民健康保険加入者の方(40歳~74歳)は「特定健診」、後期高齢者医療加入者の方は「長寿健診」の申込みができます。

調査票にお名前のある方は、必ず希望日等をご記入の上、期限日までに各地区の健康づくり推進員にご提出をお願いします。

対象年齢になったら、1年に1回は健康診断とがん検診(子宮がん・乳がんは2年に1回)を、家族みんなの習慣に!

~健康チェックは

自分への感謝 家族への愛~

高浜町イベントカレンダー 4月

1 木	◆立石区はまなすサロン 13:30~15:30(立石区生活改善センター)	17 土	
2 金	◆あそびの広場 10:30~11:30(保健福祉センター) ◆園部区サロン 13:30~15:30(園部区生活改善センター)	18 日	◆平成22年度スポーツ少年団結団式(中央体育館) ◆浜ひろい 6:30~7:00(中津海海岸) ⑤ 医 和田診療所
3 土		19 月	◆和田4区サロン 13:30~15:30(和田4区集会所) 和青図文郷
4 日	◆浜ひろい 6:30~7:00(中津海海岸) ⑤ 医 高浜病院	20 火	◆御贄献上行列(高浜町~平城遷都1300年祭会場 ~24日まで) ◆湯谷区サロン 10:00~12:00(湯谷会館) ◆わんぱくキッズ(要申込) 10:30~11:30(保健福祉センター) ◆宇治区あすなろサロン 13:30~15:30(宇治区生活改善センター) ◆人権相談日 13:00~(瑞祥苑) 内
5 月	◆スマイルベビー(要申込) 10:00~11:30(保健福祉センター) 和青図文郷	21 水	◆児童センターであそぼ 10:30~11:30(高浜児童センター) ◆南区さくらサロン 13:30~15:30(南区公民館)
6 火	◆若宮区サロン 13:30~15:30(若宮区集会所) 内	22 木	◆もの忘れ相談 14:00~16:00(保健福祉センター)
7 水	◆児童センターであそぼ 10:30~11:30(高浜児童センター)	23 金	◆児童センターであそぼ 10:30~11:30(青郷児童センター) ◆西三松区サロンえびす 13:30~15:30(西三松区福祉集会所)
8 木	◆東三松サロン 13:30~15:30(東三松生活改善センター)	24 土	◆平城遷都1,300年祭オープニングセレモニー『御贄献上式』(奈良:平城京大極殿前広場)
9 金	◆児童センターであそぼ 10:30~11:30(青郷児童センター) ◆和田ココアサロン 13:30~15:30(和田1区生活改善センター)	25 日	◆子ども会子どもリーダー研修会 医 常藤内科医院
10 土		26 月	◆にこここ横町サロン 10:00~13:30(横町区生活改善センター) 和青図文郷
11 日	◆第30回高浜町各区対抗女子ソフトボール大会(中央球場) ◆チャリンコ紙芝居 13:30~15:00(青郷公民館) 医 なごみ診療所	27 火	◆おひさま広場(要申込) 9:50~11:30(保健福祉センター) ◆さあきつとスリムトレーニング 14:00~15:00(保健福祉センター) 内
12 月	◆大西ほのぼのサロン 13:30~15:30(大西ほのぼの会館) 和青図文郷	28 水	◆児童センターであそぼ 10:30~11:30(内浦公民館) ◆音海サロン 13:30~15:30(音海区生活改善センター) ◆介護家族の会 13:30~15:30(内浦公民館)
13 火	◆さあきつとスリムトレーニング 14:00~15:00(保健福祉センター) ◆“森のイスキア”佐藤初女さん講演会(有料) 18:00~(青郷公民館) 共催/若狭高浜ドコイコ! ナニシヨ! ミニツアー 内	29 木	昭和の日 医 永谷医院
14 水	◆児童センターであそぼ 10:30~11:30(内浦公民館) ◆和田ほがらかサロン 13:30~15:30(和田公民館)	30 金	文郷
15 木	◆浦和田サロン 13:30~15:30(和田6区ふれあいセンター) ◆社会保険労務士による「ねんきん定期便等」相談 10:00~16:00(高浜町役場)		
16 金	◆あそびの広場 10:30~11:30(保健福祉センター) ◆サロン郷 13:30~15:30(青郷公民館)		

⑤ 休日当番医...休日に診療可能な病院。 ■ 休館日 ⑤ 浜ひろいの日

あなたのインターネット **若狭たかはまねっと** <http://www.wakasa-takahama.tv/>

利用用途に合わせて選べる接続サービス

5Mbps接続サービス (xストエフォード)	月額4,200円(税込) スピードアップ!
1Mbps接続サービス	月額3,150円(税込) スピードアップ!
512Kbps接続サービス	月額2,625円(税込)

※月額利用料にモデムレンタル料月額525円(税込)を含みます。
 ●接続サービスの基本サービス
 メールアカウント(10MB)×2口(無料ウイルスチェックサービス付)
 ユーザーホームページ50MB×1口、有書ホームページフィルタリングサービス(無料)

North Kansai Japan Net 北関西ジャパンネット
 届出電気通信事業者・日本CATV技術協会正会員・JPNIC正会員・JAI PA正会員
 JPRS汎用JPDメイン名指定事業者・JPNIC IDアドレス管理指定事業者

近畿コンピュータサービス株式会社
 安全安心

接続サービスのお申込みは、高浜町有線テレビ工事組合様または、nkansaiで受付をしています。

nkansai 新規サービスお問合せ先

0770-72-4055
(高浜市内通話)

0120-889486
(通話料無料)

【受付時間】9:30~19:00/月~土(祝日・休業日は除く)

【本社】
 〒668-0064 兵庫県豊岡市高屋1089-7
 TEL 0796-29-2255 FAX 0796-24-3011
 【福知山支店】
 〒620-0947 京都府福知山市旭が丘111
 TEL 0773-24-8155 FAX 0773-22-9533

nkansai 若狭たかはまねっとは、高浜町のCATV網をお借りして、nkansai が提供するインターネット常時接続サービスです。

工事・設置は以下の高浜町有線テレビ工事組合で行っています。指定工事業者でも若狭たかはまねっとの申込みを受けています。

●高浜町有線テレビ工事組合様 一覧 ※あいうえお順

加戸電機サービス店 (高浜町鐘寄)	☎72-0200
(有)北村電気工事 (高浜町紫水ヶ丘)	☎72-0883
(有)康誠電気 (高浜町日置)	☎72-4345
高浜電化ストア (高浜町南団地)	☎72-1222
久岡電気工事店 (高浜町閑屋)	☎72-0740
村松デンキ (高浜町湯谷)	☎72-0227
(株)安田電気工業 (高浜町和田)	☎72-0724
(株)敷下電業 (高浜町神野)	☎76-1317

発行：高浜町 編集：高浜まちづくりネットワーク 町民指標：きすこく ひらごう つくろう 生きがいのある 住みよい町 魅力と活力のある町 心ゆたかで 健康な町 町木：杜仲 町花：はまなす 印刷：デザイン：有限会社 高浜プリント

◆HP: <http://www.town.takahama.fukui.jp>